

# 市仏連会報

発行所  
 横浜市中区大平町96  
 光明山西有寺内  
 横浜市仏教連合会  
 電話 045 (661) 0166

## 年頭所感

### 己未の歳に想うこと

会長 志村 慎 吾

昭和五十四年の新春を迎へ謹んで新年の御祝辞を申し上げます。併せて、旧年のご高庇を厚くおん礼申上げ、本年も格段のご法愛とご支援をいただきたく衷心からお願い申し上げます。

昨年は国内、国外を含めましていろいろな出来事が在りました。共産主義の国からローマ教皇が選ばれたと云うので世界の関心をあつめております。宗教は阿片などと排撃したマルキシズムも容易に宗教の息の根を止めることは不可能ですし、共産主義のメツカであるソ連は革命直後、宗教撲滅につとめたが、今次大戦でドイツ軍の激しい攻撃によって危急存亡の機に陥ったとき、ついに信教の自由を認めていることは皆さん周知の通りであります。

ソ連をはじめ東欧共産国諸地域に於て細々と云へその底流に、宗教活動が続いているのはなぜだろるか、それは、キリスト教、イスラム教が、又々、ユダヤ教が、宗教として信仰力が強いからではないだろうかと思ひます。この三つの宗教が共産社会において、どの様に闘うか、今後の二十一世紀にかけて、人類文化史上の大きな課題であろうと唱評されております。

振り返って、わが国の仏教界を顧みますと、昨秋、秋晴れの十月には第十二回世界仏教徒会議(WFB)日本大会が、二十一世紀における仏陀のメッセージを大会テーマとして一日から六日まで、東京、京都を舞台に世界各国のWFBセンターから参集した二十四ヶ国、三百三十七名を迎へて一堂に会し盛大に挙行され、つづいて各地方に分れても夫々引続いての地方大会が開催されました。神奈川大会もインド、スリランカ、マレーシア、シンガポールの代表30名をお迎えして十月九日川崎大師総持寺、鎌倉高德院大仏殿の三ヶ寺を会場に合同法要を厳修して巡拝していただき地域信仰の実情をつぶさに視ていただいたのであります。

しかし、私共は経済大国にのしかつた豊かな日本経済の中での伽藍仏教を視てもらっただけで、「稔り多い日本大会ではなかつた」のではないだろうか?と一考せざるを得ない感じがございます。お祭り騒ぎで終止したのではなかつたでしょうか?

「伽藍はあれど仏法はない」と。京都妙心寺管長、山田無文老大師は、よくこう垂示しておられます

深く反省をさせられるお言葉です。又、鎌倉圓覚寺の朝比奈宗源管長さんは「覚悟はよいか」と呼びかけられておられます。

二十世紀、特に、その後の文明は人類を滅亡させてしまふのではないかと各方面から警告されています。この危機にのぞんで私共横浜市仏教連合会は、会則を改め自ら体制を整えて再出発して満四年を迎えようとしておりますが、今なお伽藍の中に閉じ籠って檀家制度の温床にあぐらをかきて仏教本来の活力を失つてしまつている実態ではないでしょうか。本年当初の総会と近くは去る十二月の本会の理事会の決議でも、今春(五十四年度)から市五百ヶ寺僧俗とも一団となつて、是非とも菩提心の大結集運動に邁進することを申し合せたのであります。私は年頭に当り是非とも、

#### 横浜市積尊奉議会設立

に今年を第一歩として踏み出し、自個破壊の愚かな道を歩むのを止めて、仏教精神興隆のための活動を強力にすすめたいと念ずるものであります。

本年は羊の歳であります。禅語に、「一打ノ叱声羊化シ石ト叱声一打シテ石成ル羊ニ」とあります。叱声一鞭を与えんと忽ち変じて一羊が七万頭の羊の大群をなしたと聞いています。人間は何事も命をすててかかれば成就しないことはいないので云う教示だと存じます。どうぞ皆さんのご理解あるご協力を得て、灯々無尽の菩提心の輪が拡がって行きますようお願いいたします。年頭に当り一言所信を申し上げます。

## 謹賀新年

### 横浜市仏教連合会

- |      |       |    |       |    |       |    |       |     |       |     |       |    |       |      |       |         |       |         |       |    |       |    |       |     |    |
|------|-------|----|-------|----|-------|----|-------|-----|-------|-----|-------|----|-------|------|-------|---------|-------|---------|-------|----|-------|----|-------|-----|----|
| 名譽会長 | 乙川 瑾英 | 顧問 | 小沢 省元 | 参与 | 柴田 敏夫 | 会長 | 志村 慎吾 | 副会長 | 福永 隆昭 | 副会長 | 横山 敏明 | 會計 | 森山 正城 | 専務理事 | 玄野 孝善 | 墓地専門委員長 | 佐藤 壽応 | 事務研究委員長 | 友繁 禅弘 | 監事 | 赫田 正圓 | 監事 | 鷹巢 道孝 | 他役員 | 一同 |
|------|-------|----|-------|----|-------|----|-------|-----|-------|-----|-------|----|-------|------|-------|---------|-------|---------|-------|----|-------|----|-------|-----|----|

# 世界仏教徒大会開催される

## —世界二十二ヶ国より参加

### 東京・京都で盛大に—

全日本仏教会、全日本仏教青年会共催による第十二回世界仏教徒大会(WFB)と同時に世界仏教青年大会(WFBY)が去る十月一日から十月六日迄、東京、京都其の他の地区で開催された。その概略をご報告いたします。

さまざまな問題を内包した、今日の世界仏教界の外国代表が四十七ヶ国より約三百数十名が来日され、国内参加者多数を得て、各地において種々の問題にたいして各種委員会、会議、討論等が行なわれた。かなり活発な一面もあり、有意義な大会であったといえよう。

いづれにしても民族の違いや、文化程度、生活水準の相違による障害が存在し、充分な意見交換を展開することは出来なかつたようであった。

WFBとWFBYの共催でおこなわれた。東京芝白金迎賓館における、全日本仏教会大谷光真会長招宴の歓迎レセプションは参加者千余名を越す盛大なものであった。

また十月九日には神奈川県仏教会主催の県内有名寺院参拝後の横浜中華街華正樓の招宴が行なわれた。

全日程を通じ各方面にわたり横浜市仏教会の有志の多数の方々



参加されていた。

この種の大会の最大の成果は一体なであるるか、それはやはり異った民族が仏教徒であるという共通目的と自覚をもって論じあい親睦を深めることが出来たということに尽るのであろう。

これからの仏教界にさまざまな問題を提起して幕を閉じたのである。

結論として感じたことは、仏教

とは、仏徒一人一人が正しい仏陀の教えを体得し、更にそれを実践して行くことが肝要であり急務といえよう。そこに仏教が世界の最も秀れた宗教として一大発展を遂げることが出来るのではないだろうか。それが世界仏教徒の使命であり課題である。

## 報 告

### 寺院管理市有墓地問題

墓地専門委員長 佐藤壽応

十二月一日志村会長は市役所に衛生局長を訪ね、既に提出されている書類について、  
1 一件でも二件でも手のつくれるものから始めてほしい。  
2 書類で不備のものがあれば指適してほしい。  
3 今後の方針を示してほしい。

以上について「市仏連」に掲載するので文書で解答してほしいと申入れた。之に対して十二月六日衛生局長から次の解答があった。  
寺院貸付墓地の取扱いについて標記については歴史的沿革事由を経て、本市としても国、及び他都市の状況等から早急方向付けの必要性に迫られ昭和三十六年に調査を実施したが、その後中断され今日に至っている。  
当該処理方針確立及び実現には次の調査がまず必要となる。

- 一、物件調査整備
- 1 土地(所有権)確認整備  
ア、公園  
イ、厩 本
- 2 市の保有する管財書類調査整備
- 3 寺院側提出書類調査整備
- 4 法的見解等調査  
ア、法的見解照会整理  
イ、他都市の実態調査

二、上記の作業と併行し、次の調整を行うとともに、次の手順により対処する必要がある。

- 1 市内部調整  
ア、都市計画上の調整  
イ、処理方針確立
  - 2 方針具現化  
ア、現況調査立会  
イ、処理方針に基づく契約
- これらの作業が順調に進行するとは思われず、それらに要する財政的負担も相当になると予想されかつ土地問題特有の慎重かつ確実な対策が必須の条件となる。従って根気よく順序樹てて処理していかなければならない。
- 以上の解答で市側としての事務の手順が示されただけで、最も重要な処理方針がきまっていない。この問題の重要性と複雑さから止むを得ないかも知れないが、この分だと相当の年数を要するものと覚悟せねばならない。この点について委員会としても只待っている訳にもゆかないので、志村会長と協議してその対応策を考えたい。

# 支部だより

## 金沢区仏教会の動き

53・1・27 金沢区仏教会、寺庭婦人会、新樹会(青年仏教会)と積尊奉誹会(会員六百八名)理事(各寺総代理世話人二五〇名)との合同新年会を開催し、新年度の総合事業の計画を検討した。積尊奉誹会と合同にて涅槃会を光伝寺にて念仏講中と合同で開催した。

53・3・12 金沢区遺族会の慰霊法要を葉王寺にて厳修した。

53・2・11 第三十二回積尊降誕奉誹花まつり大会を自性院(会長方坊)の新築本堂を会場に金沢積尊奉誹会と共催で二〇名の稚児行列念仏講中、題目講中、区内少年のプラサバンド、一〇〇名のバトンガールの参加もあって盛大裡に開催した。

53・6・3 金沢区仏教会の総会が称名寺で開催され花まつりの決算報告五十二年度の決算報告(一、七九〇、〇〇〇円)五十三年度の予算案(一、五九〇、〇〇〇円)審議並に諸事業計画が討議決定され懇親会に移って終わった。

53・6・21 積尊奉誹会の東京大仏とげぬき地蔵、など東京方面巡拝バス旅行に協議して二百名の檀信徒と法悦の終日を送った。

53・9・10

仏教文化講座を積尊奉誹会と共催で葉王寺に開催した。

東大教授 早島鏡正文学博士の講演「積尊と現在」と題し、先生「物と心」と題して真言宗御室派和田仁雅学部長和田義孝博士の講演。

曹洞宗伝心寺大沢老師澤田心師津田幸治住持 彌谷恵秀師津田住持 彌谷恵秀師津田住持 彌谷恵秀師津田住持 彌谷恵秀師津田住持

53・10・14

積尊奉誹会と共催で第十七回交通安全大会若六百巻交通安全大会安全対策協議会(会長長谷川区長)交通安全の共賞を得て盛大に行われた。

真言宗御室派葉王寺住職鹿野成融師(住職鹿野成融師)で未寺として高照山三ツ寺を左記の通り創設し入仏落慶の式典を行なった。

町内八八六名、認承五三・五、神奈川指合私宗本十七歳菩薩地蔵菩薩初代住職 鹿野融

53・11・16

その他に、春秋二回目帰りの仏蹟参拝を十年以上続けており、毎回観光バス五台がいつも満員の盛況でございます。

柴又の帝釈さま、浅草寺、寛永寺、平林寺、太田の吞龍さま、清見寺、道了山最乗寺、等々、教えきれません。大体一回に二ヶ寺を目標に参拝しておりますが、この参詣は、寺院相互と檀信徒との親睦と勸信に大いに貢献いたしました。

### 第四回涅槃会要綱

- 一、日時 昭和五十四年二月十日(土)午後一時より法要
  - 二、場所 南区弘明寺町山下二六七 高野山真言宗 弘明寺 TEL 七二一一二二三
  - 三、記念講演 「念すれば花ひらく」 作家 古屋照子女史
  - 四、会費 記念品代として七〇〇円(参加者全員)
- 随喜会員は黒の略衣着用のこと。

## 保土ヶ谷区・旭区仏教会

昭和五十四年己未の新春を迎えて、市仏連の発展と会員各聖の息災健勝を心から祈念いたします。保土ヶ谷旭区仏教会に於きましても異体同心、信頼と友愛の心を以つていよいよ親睦を深めております。

## 成道会

十二月八日積尊成道の日を祝して、当区の成道会が上星川東光寺において行われた。区内寺院は勿論のこと、仏教奉誹会の方、一般檀信徒の方も多数ご参集をいただき、田島仏教会々長の成道会敬白文をはじめ、当寺住職、志村齢孝師の香語、観音普門品による読経と、記念講演には、曹洞宗大本山総持寺、布教師、阿部圭祐老師のご法話が行われた、「ありがたいたいと思う心」という内容で続けられ参集の各位も、各々反省したり、これからの実行に勇気をおこしたり、心身のひきしまる思いで聞きいっていった。

## 港北区仏教会

港北区仏教会は昭和二十六年四月から源泉徴集を始めました。それには当時神奈川税務署長が非常に理解を示したので、当方としましても協力し現在に至って居ります本年十月三十一日の税務講習を致しました時の様子を少し申し上げます。源泉税の説明に於て現在普通家庭の生活費と云うと月額二十万円以下では生活出来ない云々のが通例であります。公務員さえも課長クラスともなりますと年間五百万円以下はないでしょう。あまり時代感のない給与はありえない是非改めるべきでありますとの示唆がありました。

又寺の収益事業に付ては地代家賃並權利金等総て、最大もろさず報告すべきであるとの指導がありました。之に付ては県私学宗教課とも連絡をとって居りますので、時によっては実体調査も必要ではないかとの話しも出ました。

又、県市民税に付ても国税に準じて付加する為、生活保護世帯を見ましても最近の状況は二分変つて来て居りますのでその実情をふまえて、正堂堂々と税制に付て御理解あらん事を節にお願ひ申し上げますとの事でありました。

自画自讃のようですが、各々に於かれてもこれを実施されたら如何でしょうか。

次に昭和五十六年は日連大聖人の第七百遠忌に正当し、私は宗門より第七百遠忌特派布教師を命ぜられた、只今、布教活動に東奔西走いたしておりますが、これと同時に区仏教会の発展のために大いに精進しよう、新春に当り自ら肝に銘じている次第であります。(田島海義 記)

無レ端 破レ夢 明星 下  
回レ首 初 知 万 物 新  
東光寺 輪孝九拜

# 頌 春

市仏連参与

港北区仏教会会長

柴 田 敏 夫

港北区菊名町五二一  
電 四二一八六八三

市仏連理事  
龍松寺住職

近 藤 憲 雄

港北区太尾町一〇二三  
電 五三一六〇三〇

金沢八景九覽亭の在る禅刹

昇天山金龍禅院

住職 志 村 慎 吾

金沢区六浦町四四一二  
〒二三六 電七〇一八八二三

横浜市仏教連合会顧問  
財団法人国際仏教興隆協会事務総長  
東光寺住職

小 沢 省 元

金区釜利谷町一四四二

曹洞宗第二宗務所副所長

東林寺住職

瀧 田 東 潤

港北区篠原町一二五二  
電 四二一〇三三二

横浜市仏教連合会会計

福聚寺住職

森 山 正 城

保土ヶ谷区岩井町五六  
電 七一一五五九四

横浜市仏教連合会副会長

新善光寺住職

福 永 隆 昭

南区三春台一三三  
〒二三二 電二三一一五七五四

横浜市仏教連合会副会長

西有寺住職

横 山 敏 明

中区大平区九六  
1二三一 電六六一〇一六六

保土ヶ谷・旭区仏教奉讃会理事長

三仏寺住職

吉 川 哲 雄

旭区本村町七六  
〒二四一 電三九一一三〇七

横浜市仏教連合会専務理事

長昌寺副住職

玄 野 孝 善

旭区さちが丘五九  
電 三九一一三三七九

金沢区仏教会会長

自性院住職

小 西 順 光

金沢区釜利谷町一〇六六  
電 七〇一八〇四四

市仏連理事

本乗寺住職

從 野 澄 勇

港北区大豆戸町二四二  
電 四〇一九九〇三

南・港南区仏教会会長

弘誓院住職

安 藤 総 持

南区陸町二一二二一  
電 七三一二八二五

市仏連監事

円光寺住職

赫 多 正 圓

鶴見区朝日町一五六  
電 五〇一六〇〇〇

磯子区仏教会

會長 川 野 清 吾

副會長 瀧 川 覺 道

會 計 鬼 頭 誠 胤

幹事長 永 久 良 雄

天台宗金蔵寺住職

金蔵寺幼稚園々長

内 田 大 亮

港北区日吉本町二一六  
〒223 電 〇四四・六一・二〇三七

市仏連理事

雲林寺住職

北 見 定 賢

戸塚区矢部町七八八  
電 八六一一三三四

保土ヶ谷旭区仏教会長

日蓮宗々會議員  
大蓮寺住職

田 島 海 義

保土ヶ谷神戸町九八  
TEL 3310135

神仏青幹事長

觀音寺住職

本 間 孝 康

神奈川区三ツ沢東町八一二  
電 三一―五九六〇

中区仏教会会長

大円寺住職

佐 藤 泰 心

中区 大 平 町 九 四  
〒二三一 電 六四一―四九三三

神奈川区仏教会会長

遍照院住職

山 本 芳 昭

神奈川区子安通三一三八二  
電 四四一―〇八二七

西区仏教会会長

墓地専門委員会委員長  
久成寺住職

佐 藤 壽 応

西区平沼一―二〇―二六  
電 三二―七六七六

本会役員名簿

志村師の会長任期も、後四ヶ月を残すのみとなったが、各区仏教会選出の本会役員も、かなり変動があつたので、ここに再掲する。

- 名譽会長 乙川瑾映(鶴見総持寺真首) 顧問 小沢省元(金沢、東光禅寺) 柴田敏夫(港北、蓮勝寺) 副会長 志村慎吾(金沢、金竜院) 福永隆昭(南、新善光寺) 横山敏明(中、西有寺) 會計 森山正城(保土ヶ谷、福聚寺) 専務理事 玄野孝善(旭、長昌寺副住) 監事 赫多正円(鶴見、円光寺) 鷹単道孝(戸塚、光長寺) 稅務研究委員会 委員長 友繁禪弘(金沢、正法院) 委員 生方忠常(鶴見、天王院) 委員 佐伯隆義(金沢、宝珠院) 同 齊藤隆法(緑、福聚院) 墓地専門委員会 委員長 佐藤壽応(西、久成寺) 委員 能登有兆(金沢、持明院) 同 西郊良光(西、圓滿寺) 常務理事 松阪秀宏(鶴見、宝泉寺) 山本芳昭(神奈川、遍照院) 佐藤壽応(西、久成寺) 佐藤泰心(中、大円寺)

- 安藤総持(南、弘誓院) 田島海義(保土ヶ谷、大蓮寺) 川野清吾(磯子、林香寺) 小西順光(金沢、自性院) 内田大亮(港北、金蔵寺) 佐藤秀山(緑、大蔵寺) 永原文雄(戸塚、清源院) 藤村宣浄(瀬谷、妙光寺) 理事 森本祐堂(鶴見、良忠寺) 白石謙祐(鶴見、正行寺) 上原良哉(鶴見、常倫寺) 黒多良弘(神奈川、菓王寺) 板垣禎一(神奈川、長導寺) 楠 興雅(西、願成寺) 渡辺源証(西、光源寺) 川口益生(中、東漸寺) 齊藤英紀(中、千歳寺) 実淨文英(南、勝国寺) 伊藤泰岳(南、常照寺) 原 鍊恵(南、七面教会) 後藤泰心(港南、日行寺) 滝川寛道(磯子、海照寺) 鬼頭城胤(磯子、篁修寺) 石沢光道(金沢、長昌寺) 日野教昭(港北、最乗寺) 滝田東潤(港北、東林寺) 近藤憲雄(港北、竜松院) 従野澄勇(港北、本乗寺) 伊藤履道(港北、西方寺) 北田隆海(緑、観護寺) 安田一雄(緑、宝袋寺) 一守靈真(戸塚、証善揚寺) 北見定賢(戸塚、雲林寺) 青木大憲(瀬谷、宝藤寺) 林田源真(保土ヶ谷、見光寺) 善浪鉄心(保土ヶ谷、正観寺) 吉川哲雄(旭、三仏寺)

青木山本覚寺 山門修復落成

横浜駅から一キロ程東京より青木橋がある。その橋のわきにそびえ立つ山門が、本覚寺山門だ。この山門、本覚寺十世大定梁国大和尚が霊夢を見て、享保十五年に建立されたものという。全国で初めてペンキを使った門として有名。今年の八月松井建設によって修復され素晴らしい門となった。

大沢良允師

金沢区町屋町十六一八、曹洞宗伝心寺住職大沢良允師は、昨年来宿阿におかされ北里大病院に

- 53・9・3 稅務研修会 弘明寺観音に於て 宗教文化講座 ミニ県庁に於て 53・9・13 孝道教団大頭堂本葬 正副会長出席 53・10・1 WFB開会式於築地 53・9・18 53・9・1 市仏会報第七号発行 県慰靈堂奉仕 南・港南仏教会 53・8・5 53・9・1 53・9・1 53・10・9 53・10・6 53・10・7 53・10・9 金沢区町屋町十六一八、曹洞宗伝心寺住職大沢良允師は、昨年来宿阿におかされ北里大病院に

事務

- 53・11・16 中・西区仏教研修会 大円寺に於て 53・11・22 市仏理事會及び懇親會の開催 神奈川区桂月に於て 議 題 横浜市釈尊奉贊會設立の件 入院加療中であつたが、去る九月三日早暁、ついに化を他界に遷された、世寿六十九才であつた。師は、伝心寺三十八世として入山するや、寺門の經營に苦辛され檀信徒の増加をはかると共に本堂庫裡の増改築に専心し、今日見る立派な堂宇を完成し、その功により生前 本寺より中興の称号を授与され、また宗内でも宗務所贊事副所長等を歴任され、権大教師、黄恩衣披著の榮譽に輝いていた。 金沢区仏教会々長、釈尊奉贊會事務局長、民生委員等幾多の要職をかね、区内での活躍ぶりもまた稱贊のまゝであつた。 於中華街 華正樓 志村会長以下多数の出席

誌

- 第回涅槃會開催の件 墓地専門委員会報告 稅務研究委員会報告 了つて懇親會 宗教実務研究会 会長副会長出席 第八号市仏会報編集會議 三役會議 新善光寺に於て 宗連理事會 刑務所に於て 本年の涅槃會は二月十日午後一時から弘明寺観音で催される事になった。合せて、古屋女子の「念ずれば花開く」の講演もある。檀信徒の方をさそつて多くの出席を、お待ちしております。 本年は、横浜市釈尊奉贊會を誕生させて、広く市民に釈尊をそして仏教を理解していただくことと会長はじめ理事一同はりきっている。ぜひ、地域の方々にこのむねを話されて一人でも多くの方のご入会を、お願い申し上げます。 各支部においても種々の行事が、開催されている事と申すが、広くその行事を理解していただくため、ぜひとも原稿を寄せていただきたい。写真でも、カット絵でもけっこうです。 本年の諸師の御發展を祈る。

編集後記

新年を迎え市仏会報も、また新しい内容を盛りだくさんのせて皆様におどけたいしたいと役員一同、努力した。 昨年は本会の有望な諸師が遷化せられ悲しい。健康には充分注意せられ本会に助力してほしいと望む。 本年の涅槃會は二月十日午後一時から弘明寺観音で催される事になった。合せて、古屋女子の「念ずれば花開く」の講演もある。檀信徒の方をさそつて多くの出席を、お待ちしております。 本年は、横浜市釈尊奉贊會を誕生させて、広く市民に釈尊をそして仏教を理解していただくことと会長はじめ理事一同はりきっている。ぜひ、地域の方々にこのむねを話されて一人でも多くの方のご入会を、お願い申し上げます。 各支部においても種々の行事が、開催されている事と申すが、広くその行事を理解していただくため、ぜひとも原稿を寄せていただきたい。写真でも、カット絵でもけっこうです。 本年の諸師の御發展を祈る。